

科目名称	生活環境学
授業コード	BG362
英語名称	Theories on Living Environment
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	金子 千香
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	障害のある人の自立支援および社会参加を介入支援するためには、障害のある人の個人の要因として捉えるとともに、その人を取り巻く生活環境からも捉える必要もある。 本講義では、生活環境を障害のある人の住居や公共交通機関および公共建築物などの物理的環境のみならず、福祉制度や施策等の制度的環境、更には障害のある人やその家族および介護者、専門家等の人的環境からも捉え、障害のある人が自立した生活とともに社会参加が保証されるための生活環境整備・改善の介入支援の在り方について学修する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた教員が、その経験を活かして、障害のある人の取り巻く生活環境についての講義を行う。
到達目標	本学が掲げるディプロマ・ポリシーの理学療法学に関する知識の習得を目指す。 ・生活環境学の基礎概念を理解し、障害のある人の生活活動機能障害と取り巻く生活環境との関係について、自立した生活とともに社会参加の観点から理解する。
計画・内容	第1回 生活環境の考え方,日本における生活環境の特徴と課題 担当：金子 第2回 生活環境整備に関する法的制度,生活環境整備の進め方 担当：金子 第3回 生活環境整備の基本 担当：金子 第4回 住宅改修 担当：金子 第5回 住宅改修 担当：金子 第6回 疾患別環境整備 担当：金子 第7回 まちづくり・災害時における避難所の環境調整 担当：金子 第8回 まとめ 担当：金子
授業の進め方	スライドや配布資料を使用し、教科書に沿って講義する。 必要に応じて個人課題やグループワークを行う。
能動的な学びの実施	課題、ワークへの取り組みにおいて能動的な学びを実施する。
授業時間外の学修	予習：授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1時間～2時間） 復習：教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること（各回1時間～2時間）
教科書・参考書	教科書：鶴見隆正,他(編集), 標準理学療法学「日常生活活動学・生活環境学 第6版」医学書院. 参考書：細田多穂監修「シンプル理学療法学作業療法学シリーズ 生活環境学テキスト」南江堂

成績評価方法と基準	提出課題と試験(100%)により評価する。
課題等に対するフィードバック	課題については、適宜フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Square を参照 メールにて随時受付
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	オンライン上で双方向性の講義を行う。 提出課題と試験(100%)により評価する。